

昭和十二年一月二十三日 第三種郵便物認可  
昭和十六年十月二十五日 印刷納本  
昭和十六年十二月一日 毎月一回一日發行

禁轉載

# 道路の改良

第二十三卷 第十一號



道 路 改 良 會 社 法 人

鋪裝報國



鋪

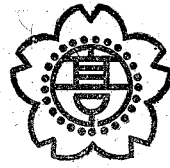
東京・丸ノ内

日本鋪道株式會社

社長 淺利三朗

東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新京・橫濱・名古屋・京都

土木建築  
道路鋪裝  
工事請負



# 株式會社 高野組

本社

東京市京橋區越前堀二ノ一

電話京橋(56)一、九二三番・七、八二五番  
七、三三〇番・八、〇七二番

倉庫

東京市品川區東品川三ノ三

電話高輪(44)五三〇番

大阪出張所

大阪市北區梅ヶ枝町一五七(梅ヶ枝ビル)

電話北(36)一、九五六番・一、九八八番

福岡出張所

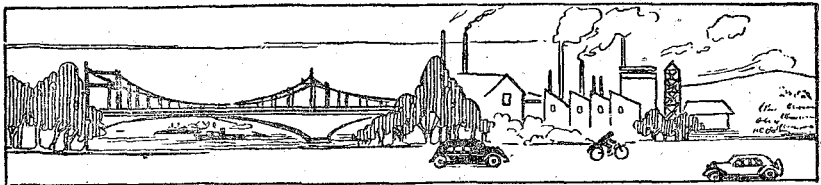
福岡縣糟屋郡和白村奈多

電話和白二一八番

上海出張所

上海市老靶子路二六九號

電話(02)四三、一一三番・三、九五〇番



『道路の改良』第二十三卷第十一號目次 昭和十六年十一月一日發行

卷頭言

論 說

道路隨想

早稻田大學教授 島田孝一(三)

研 究

獨逸に於ける道路行政(一)

多田基(三)

資 料

地方町村道改良に關する豫備知識(二)

W S 生(三)

說 苑

歴代内務土木局長と其時代(十七) 湯澤三千男氏

清水生(三)

蘇聯の全貌と抗戦力と交通問題(中)

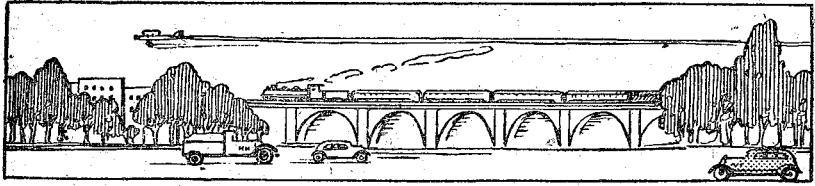
淡路生(五)

鳥取縣と土木行政(一)

鳥取縣廳土木課 前田豐(英)

時 局 日 誌(四十九)

Y H 生(六)



内務省特報

内務省告示◎東條、田邊新舊大臣の挨拶◎菅場前次官と湯澤新次官◎新内閣々僚一覽表  
◎前國土局長成田一郎氏の挨拶◎近刊圖書雜誌……………(八)

地方通信

東京府下環狀道路近く著工……………其他……………(三)

路政春秋

これは珍しい林子平の地圖……………其他……………(五)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例……………Y K 生(七)

雜報

内務大臣の交迭◎内務次官の交迭◎内務省國土局長の交迭……………(六)

叙任辭令……………(九)

編輯室の外……………(一〇)

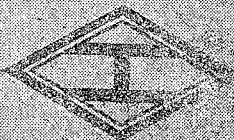
# 裝 鋪 路 道

(カタクダ路装)



建築科

瀝青乳劑製造販賣請負  
 瀝青製鋪裝工事請負  
 各種鋪裝一般土木建築工事請負



## 東邦工業合資會社

本社 { 東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三  
 { 電話青山(36)四九七三・八一四八

工場 { 神奈川縣川崎市幸町三ノ六一二  
 { 福岡縣小倉市富野町下道田一四一三ノ二

營業所 { 名古屋市・京都市・大阪市  
 { 岡山市・廣島市・小倉市・熊本市

書修獨の者務實木土

# 座講木土用實

級初  
と  
級上

度 程 等 中

秋期新學期開始 新會員大募集

一億一心。實力養成。技術は即ち力である。世は技術時代。土木は國本的技術として高度國防の基本的一環を成し、特に航空土木及防空土木は時局下必讀の新進技術である。

新東亞建設の第一歩は土木日本の大陸進出に在り。行け！ 土木家は大陸に!!! 國力伸張のため將た東亞興隆のため。

土木を以て立身奉公せんと欲する人のために、島國日本より大陸日本へ進出報國を期する人のために、本講座を捧げる。

▼兩講座共初代内務省土木試驗所長、元東京市土木局長牧彦七博士の綜管下で、内務・鐵道・農林・遞信四省、東大・日大・企畫院・滿洲國政府・東京市役所・北京特別市公署・其他の關係諸先生の執筆に成る時需の最良書である。

▼初級講座は土木製圖・測量學・應用力學・土木材料・施工法・鐵筋コンクリート・河川工學・砂防工學・港灣・道路・橋梁・鐵道工學・發電水力・都市計畫・下水道の外に科外講話あり。一年三ヶ月修了。毎月一册配布。會費金壹圓五拾錢前納。全卷即時配布可能。

▼上級講座には簡易鋪裝・セメント系鋪裝・コンクリート橋梁及溝橋・隧道工・河港及運河・基礎工・擁壁工・農業土木・航空土木・防空土木・高速鐵道・軌道及特殊鐵道・土地地質學・土工事監督・續土木工事監督・土木行政法綱要・應用電氣工學等あり。一年一ヶ月修了。

▼送料每卷市内六錢、地方十四錢(但第十三號に限り金貳圓前納。全卷即時配布可能。申込期限は來る十二月末日限。期限内申込には特典があります。

内容見本無代進呈

東京市世田谷區上馬町一ノ六五九番地

日本土木工學會

振替東京二〇八三四番

訂補重版出來！

内容見本御申越次第贈呈

# 道路職員必携

三五判壹千百餘頁  
レザークロス装函入  
定價 金 五 圓  
送料 内地 金 十 四 錢  
臺灣、朝鮮、滿洲 支那 金 十 八 錢

本書は道路改良計畫竝に其の設計の指針として、本會が特に道路技術竝に行政の權威者三十餘名の方に執筆を依頼し完成したるものにして、内容は豊富に且つ記述も實に精緻を極めたもので、印刷装幀も鮮麗優雅にて携帶に便なるハンドブックである。

殊に道路構造令・街路構造令及細則につきても詳細に記載せる點に於ては、他に未だ嘗てその比を見ざるものにして斯界人士の必須書である。

目次 第一編總論、第二編道路の設計、第三編土工、第四編道路の排水設備、第五編鋪裝の構造及施工、第六編工作物、第七編都市計畫街路、第八編交通整理及街路照明の施設、第九編道路材料、第十編維持及修繕、第十一編道路用器具機械、第十二編示方書、第十三編法規、(附録 測量に關する諸表其他)

本會々員及學生に限り  
特價金參圓五十錢に頒つ

發行 社 國 道 路 改 良 會  
發賣所 好 文 館 書 店

東京市小石川區諏訪町五十六番地  
振替 東 京 九 〇 二 番  
電話小石川(85)二三七七、二三七八、二三七九番



昭和十六年

道路の改良

十一月一日

第三十二卷

第十號

## 言 頭 卷

第三次近衛内閣は、「三度大命を拜し非才を顧みず寔に恐懼感激の至りに堪へません。變轉極まりなき現下の世局に於て皇國の使命は益々重く眞に舉國緊張の秋であります、微力果して克く負荷の重きに任し得るやを懼るゝものであります、が死力を盡して、聖旨を奉行し以て、皇恩の萬一に報い奉りたいと存じます」と近衛公をして言はしめ死力を盡しと悲愴なる決意の下に組閣したのである。然るに十月十六日即ち組閣後滿三ヶ月にして國策遂行の方途に關し意見の一致を見ること能はざるに立ち至りとの理由を以て總辭職を爲すに至つたのである。寔に遺憾千萬と謂はなければならぬ。

顧みるに第三次近衛内閣は僅に三ヶ月の短期間に過ぎざりしも其の間陸海兩相の共同要請に基き、「政府全機關一致して戰時内閣の本領を發揮し以て戰時體制の飛躍的強化を促進し政體一體の實を擧げ」ことを申合せ其力強き發足振りを示し、重要産業國體統制令、港灣運送業統制令、株式價格統制令、勤勞報國隊令、金屬特別回教令、臨時郵便令、大學々部等の在學年限臨時短縮、兵役法の改正の如き對内的政策を斷行し、又日米間の懸案たる太平洋問題に付野村大使を通して米國ルーズヴェルト大統領にメツセーヂを手交せしめ以て太平洋の危機打開に懸命の努力を集中した。國民は其成行を見守つたが、英米を主軸とする對日包圍陣は着々強化され、太平洋を繞る諸情勢は日一日と危機を呼ぶに至つたのである。

來るべき日が遂に來た、第三次近衛内閣は退陣した。大命は陸軍大臣東條英機氏に降下した、組閣は直ちに成立した、だが司法、文部、農林、厚生、の四大臣は留任し東條總理大臣は内務、陸軍を兼攝し其他は新に起用せられた。戰時體制の根幹は斯の如くして確立したのである。

即ち東條首相は首相官邸に於て右の如く聲明した。

支那事變を完遂し、大東亞共榮圈を確立して世界平和に寄與するは帝國不動の國是なり、今や未曾有の重大世局に臨む政府は、外益々盟邦との交誼を厚くし、内ます、國防國家體制を完備し、御稜威の下舉國一體聖業の達成に邁進せんことを期す

と。されば統帥外交の一體的推進は勿論日米交渉問題、事變完遂共榮圈確立、國防充實整備、基本國策要綱の具體化、行政機構の根本改革、國貨自給經濟の確立、總動員法の全面發動、最低國民生活の保障の如き斷じて之を遂行するは東條内閣の使命である。茲に國民は一切を捨て、報國の實を擧げ其の使命達成の爲に協力せんことを誓ふべきであらう。(洮民)